

©Kawashima Kotaro



CONTEMPORARY JAPANESE PHOTOGRAPHY 1985-2015

- 秋山忠右 ● 秋山亮二 ● 芥川仁 ● 浅田政志 ● 荒木経惟 ● 新正卓 ● 有元伸也 ● 飯島幸永 ● 石内都 ● 石川直樹
- 石川莞 ● 石川真生 ● 石川竜一 ● 井津建郎 ● 井上隆雄 ● 井上博道 ● 今森光彦 ● 岩合光昭 ● 宇井真紀子 ● 上田義彦
- 潮田登久子 ● 内山英明 ● 梅佳代 ● 海野和男 ● 榎並悦子 ● 江成常夫 ● 大石芳野 ● 大西成明 ● 大西みつぐ
- 大山行男 ● 尾仲浩二 ● オノデラユキ ● 金村修 ● 亀山亮 ● 川島小鳥 ● 川田喜久治 ● 鬼海弘雄 ● 菊池哲男 ● 北島敬三
- 北野謙 ● 木之下晃 ● 久保田博二 ● 熊切圭介 ● 戴真墨 ● 操上和美 ● 栗林慧 ● 桑原史成 ● 児玉房子 ● 小林紀晴
- 小林のりお ● 小松健一 ● 西條嘉吉 ● 齋藤康一 ● 坂田栄一郎 ● 桜井秀 ● 佐藤信太郎 ● 佐藤時啓 ● 志賀理江子
- 篠山紀信 ● 柴田敏雄 ● 島尾伸三 ● 嶋田忠 ● 清水哲朗 ● 下瀬信雄 ● 十文字美信 ● 白川義貞 ● 白鳥真太郎
- 菅洋志 ● 鋤田正義 ● 鈴木清 ● 鈴木理策 ● 須田一政 ● 瀬戸正人 ● 平寿夫 ● 高井潔 ● 高木こずえ ● 高砂淳二
- 藤野隆大 ● 竹内敏信 ● 竹沢うるま ● 武田花 ● 立木義浩 ● 田沼武能 ● 田原桂一 ● 田村彰英 ● 築地仁 ● 土田ヒロミ
- 百々俊二 ● 内藤正敏 ● 中井精也 ● 長倉洋海 ● 永坂嘉光 ● 長島有里枝 ● 長野重一 ● 中野正貴
- 中藤毅彦 ● 中村征夫 ● 名越啓介 ● 橋橋朝子 ● 西野壮平 ● 嶋川実花 ● 野町和嘉 ● 野村佐紀子 ● 芳賀日出男
- BAKU 齊藤 ● 橋口讓二 ● 長谷川健郎 ● 秦達夫 ● 英伸三 ● ハービー ● 山口 ● 林典子 ● 樋口健二 ● 広川素士 ● 広田尚敬
- 深瀬昌久 ● 藤岡亜弥 ● 藤本巧 ● 藤原新也 ● 古屋誠一 ● 平敷兼七 ● 星野道夫 ● 細江英公 ● 本城直季
- ホンマタカシ ● 前川貴行 ● 真島清秀 ● 増田彰久 ● 松本徳彦 ● 水越武 ● 水谷章人 ● 宮古市 ● 宮崎学 ● 宮澤正明
- 宮本隆司 ● 三好和義 ● 六田知弘 ● 本橋成一 ● 森住卓 ● 森村泰昌 ● 森山大道 ● 八木祥光 ● 山内道雄 ● 山口勝廣
- 山崎博 ● 梁丞佑 ● 横須賀功光 ● 横田大輔 ● 吉村和敏 ● 米田知子 ● 林明輝 ● ルーク・オザワ ● 鷲尾倫夫

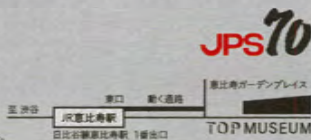
(五十音順)

表1. 上田仁 | 鳥取孝正 | シンバ | 新井 勇を敬ぶ | 表2. 川島小鳥 | 未来ちゃん

※展覧会及び関連事業は、やむを得ず中止・変更させていただく場合がございます。予めご了承ください。
※会場後継時にはご入場をお待ちいただく場合がございます。予めご了承ください。

恵比寿ガーデンプレイス内
東京都写真美術館
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

〒153-0062 東京都港区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
tel. 03-3289-0099 www.topmuseum.jp
JR恵比寿駅東口11分徒歩約7分
東京メトロ有楽町線恵比寿駅2分徒歩約10分
当館には駐車場はありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。



©Tsuchida Hiroshi

CONTEMPORARY JAPANESE PHOTOGRAPHY *1985-2015

日本写真家協会創立70周年記念

日本の現代写真 1985-2015

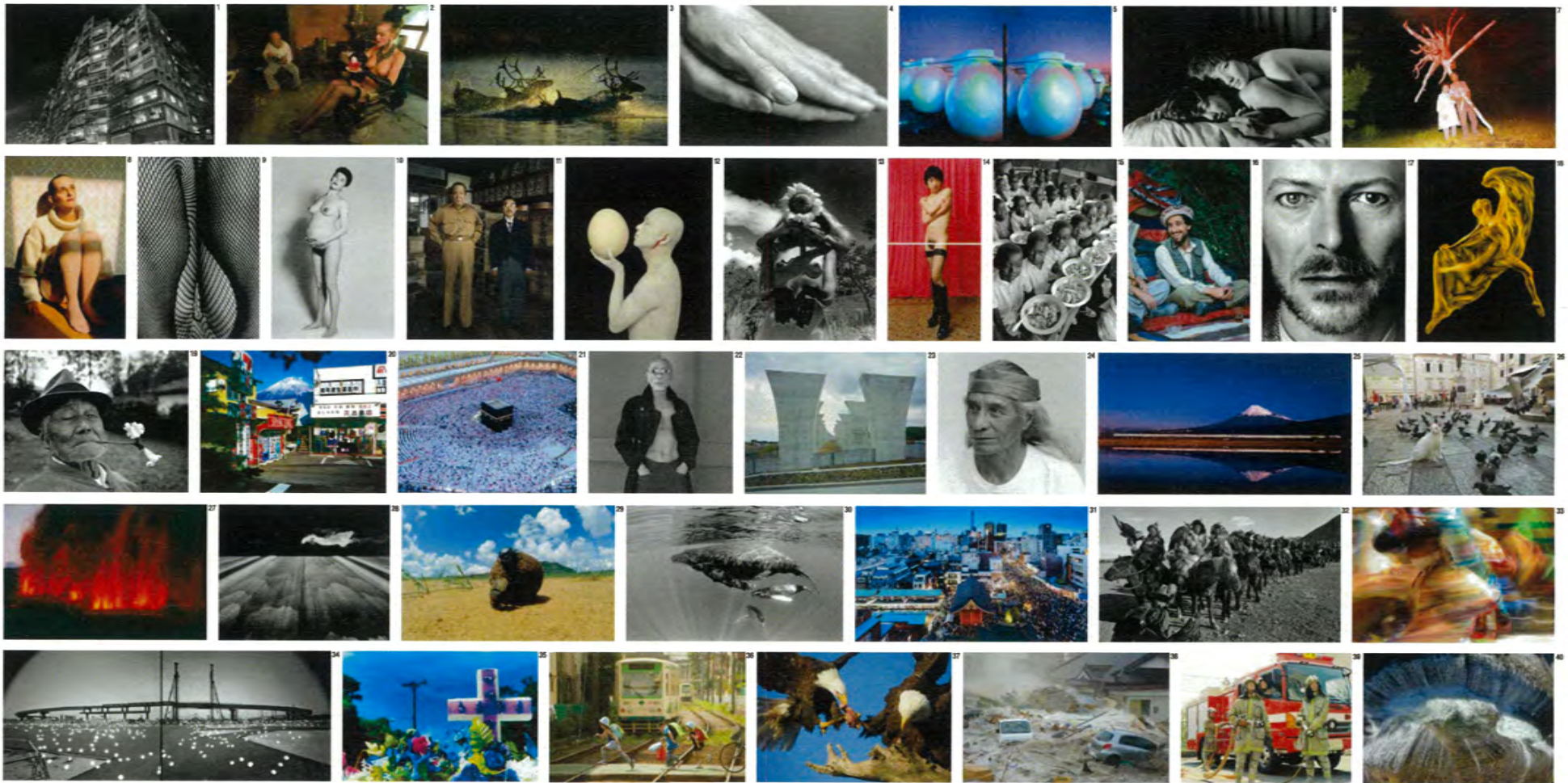
2021年3月20日[土・祝] — 4月25日[日]

開館時間: 10時-18時 *入館は開館の30分前まで 休館日: 毎週月曜日
観覧料: 一般1000(800)円 / 学生・65歳以上800(640)円 *1)内は20名以上の団体料金
*高校生以下、および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料
主催: 公益社団法人日本写真家協会 共催: 文化庁 共催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館
特別協賛: キヤノンマーケティングジャパン(株) 各報社協賛 第二コン 第二コンイメージングジャパン
富士フイルムイメージングシステムズ(株) 興和パシフィック (五十音順)



地下1階展示室

TOP MUSEUM



CONTEMPORARY JAPANESE PHOTOGRAPHY * 1985-2015

日本写真家協会創立70周年記念「日本の現代写真1985-2015」

日本写真家協会(JPS)は、創立70周年の節目に、写真史「日本の現代写真1985-2015」の編集と写真展を催すこととした。過去に刊行した、「日本写真史1840~1945」、「日本現代写真史1945~1970」、「日本現代写真史1945~95」に続く4冊目の写真史であり、フィルムからデジタルへと表現手段が変化したことで、写真を取り巻く環境が劇的に変化した直近の30年を総括する企画である。

本展では編集対象とする30年を、第1期：1985年~1994年、第2期：1995年~2004年、第3期：2005年~2015年と10年ごとの3期に分類した。

第1期の時代は、経済の拡大とともに、世界的にグラフィジャーナリズムが最も栄えた時代と言える。次いで第2期で特筆すべきことは、2000年頃から急速に進んだデジタルカメラの性能向上により、フィルムカメラからデジタルへの切り替えが始まったことである。第3期になると、デジタルカメラの進

化は著しく、機種が更新される度に性能は格段の進化を遂げ、世界で流通するカメラがデジタルに切り替わり、日本製デジタルカメラが世界市場を席巻した時代でもあった。

新型コロナウイルスの感染拡大により、世界はいま未曾有の危機に直面している。未知の世界と触れることで刺激を受け、作品を創り続けてきた多くの写真家が、かつて経験したことのない困難に直面させられている。写真を取り巻く環境が激変し、更に加速してゆくこの時代に、この30年間に活躍した写真家152人の代表作を選び、総括しておくことは日本の写真史にとっても、大変意義のあることと考える。

どのような時代になろうとも、世界を、森羅万象をしっかりと見つめること、そして何よりも写真の底力を信じることで、写真家は時代を乗り越えてゆくのである。

野町和嘉

公益社団法人日本写真家協会会長

- | | | |
|-----------------------------|---------------------------|-------------------------------|
| 1. 宮本徹司 丸籠城跡 | 16. 長谷洋海 | 28. 栗田敏彦 グランド・タワー・ダム |
| 2. 藤山紀信 1988 Tokyo | 17. 今島光彦 | 29. 今島光彦 |
| 3. 星野道夫 | 18. アブガ 従法運船の海軍軍艦 | 30. アブガ 従法運船の海軍軍艦 |
| 4. 石内都 1-9-4-7 #5 | 19. 中村彰夫 David Bowie "SK" | 31. 中村彰夫 デトロイトのファミリー |
| 5. 田村彰夫 夢の光 | 20. 白鳥真太郎 Yellow B. | 32. 佐藤賀太郎 |
| 6. 野村彰夫 夢の光 | 21. 新正生 | 33. 東京「天空欄 |
| 7. 志賀重江子 開戦の肖像 | 22. 藤原新也 祭舞士 | 34. 清水哲朗 BURGED |
| 8. 古原誠一 Venezia, 1985 | 23. 野町和嘉 マツカ礼 | 35. 竹内誠也 コルマ |
| 9. 藤山紀信 下高井戸のタイツ | 24. 鬼海弘雄 舞踏家 | 36. 佐藤時彦 光一 時彦 #145 |
| 10. 横上和美 Carol Ohmura, 1988 | 25. 武川憲士 BABEL ORDINARY | 37. I. H. Koto-ku, Aomi, 1992 |
| 11. 藤村泰延 なにものへのレクイエム | 26. LANDSCAPES #4 | 38. 龍川実花 永遠の花 |
| 12. 上田義彦 AMAGATSU, 1990 | 27. 中井健也 下町ドラマ | 39. 中井健也 下町ドラマ |
| 13. 藤江美公 ひまわりの歌 | 28. 藤川貴行 争うハートクワシ | 40. 西條誠吉 舞臺 |
| 14. 藤野大マリア #2 | 29. 西條誠吉 舞臺 | 41. 浅田麻志 浅田家「消防士」 |
| 15. 田沼武徳 | 30. 浅田麻志 浅田家「消防士」 | 42. 林明輝 |
| | 31. 浅田麻志 浅田家「消防士」 | 43. フォン(魚眼レンズ)で撮った東灘の境 |
| | 32. 浅田麻志 浅田家「消防士」 | |
| | 33. 浅田麻志 浅田家「消防士」 | |
| | 34. 浅田麻志 浅田家「消防士」 | |
| | 35. 浅田麻志 浅田家「消防士」 | |
| | 36. 浅田麻志 浅田家「消防士」 | |
| | 37. 浅田麻志 浅田家「消防士」 | |
| | 38. 浅田麻志 浅田家「消防士」 | |
| | 39. 浅田麻志 浅田家「消防士」 | |
| | 40. 浅田麻志 浅田家「消防士」 | |